

婦人労働調査資料第62号

主婦の就労に関する調査

—結果報告書—

1969年10月

婦人少年局婦人学課

婦人少年局

は し が き

近年、労働力不足の進行につれて、婦人の労働力が強く求められている。1969年の婦人雇用者数は1,000万人をこえ、その4割は有配偶者であるが、最近パートタイムで雇用される中高年令婦人の増加に著しいものがみられるので、この割合は今後ますます高まるものと考えられる。

しかし、一方では学校卒業後就職した婦人が、勤め始めて数年で結婚、出産等の理由で退職する例も多くみられる。これらの婦人が再び労働者として外に出るかどうかは本人の意志と就労を容易にする諸条件の整備の問題に関わってくるであろう。

そこで、本調査は現在家庭にいる婦人が過去に職業をもっていた場合どういう理由で職業生活からしりぞいたか、また今後の就労に関してどのような考えや希望を持っているかを聞くことによって、主婦が職業に就く際、どのようなことが障害になるかを明らかにし、就労を容易にするために必要な施策をたてる上に資することを目的とした。

なお、この種の調査はすでに総理府等で実施されているが、本調査は団地主婦に対象を限ったことが特色である。

調査にあたってご協力いただいた方々に謝意を表するとともに、本報告書が、婦人労働問題に関心をもたれる方々のお役に立てば幸いと思う。

1970年9月

労働省婦人少年局

目 次

は し が き

I 調査について	2
1 調査の目的	2
2 調査の範囲	2
3 調査事項	2
4 調査の実施時期	2
5 調査の方法	2
6 調査機関	2
7 集計対象数	2
II 調査結果の概要	3
III 調査結果について	5
1 調査対象者の属性	5
2 過去の職業生活	6
(1) 勤めの経験	6
(2) 転職回数	7
(3) 最後に勤めをやめた時期	7
(4) 最後の勤めの退職理由	7
(5) 結婚による退職	9
(6) 出産による退職	11
(7) 勤続の意志	13
(8) 就 職 理 由	14
(9) 勤めなかった理由	17
3 現在の就労意志	18
(1) 就 労 意 志	18
(2) 就労の可能性	20

I 調査について

1. 調査の目的

主婦が家庭責任と職業生活を両立させていくにあたっての隘路をは握し、主婦の就労の円滑化をすすめるための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の範囲

- (1) 地 域 埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡、以上9都府県の市部
- (2) 調査地点 調査地点は、4大産業地別に住宅地区を団地に限り、層別任意抽出により巻末一覽表(22頁)のとおりを選定した。
- (3) 対象者 上記団地に居住する25~34才の有配偶無職の婦人2,000人。年齢を限定したのは、職業経験者についてはその退職時からの時間的隔りが比較的短いこと、就労に際して育児等の困難が多い年代であると思われること等を考慮したためである。
- 対象者の選定は、上記調査地点における住民票により行ない、既存資料(昭和42年度「公団賃貸住宅入居者調査報告」日本住宅公団)から得た団地主婦の年齢構成にあわせて、25~29才を2、30~34才を1の割合で任意抽出した。

3. 調査事項

別添調査票のとおりである。

4. 調査の実施期間

昭和44年10月15日から31日まで。

5. 調査の方法

実地他計

6. 調査機関

労働省婦人少年局—婦人少年室—統計調査員

7. 集計対象数

調査の結果、不完全な調査票を除き1,983票を集計対象とした。

II 調査結果の概要

1. 調査対象者の属性

- 対象者は団地に居住する25~34才の無職の主婦で、学歴は中卒、高卒、短大・大学卒が1:7:2の比率となっている。
- 調査対象者の半数が、教員、薬剤師、看護婦、栄養士、珠算、簿記、タイプ、理美容師等職業に関係があると思われる何らかの資格をもっている。
- 調査対象者の世帯はほとんど(96%)が夫婦と子供だけの核家族で、子供の数は1~2人が大部分を占め、末子の年齢が2才以下である場合が多い。
- 夫の職業は、会社員と公務員で9割を占め、世帯の月額収入額は、8~14万円台(60%)である者が多い。また15万円以上も7%みられる。

2. 過去の職業生活

- 86%が過去に勤めの経験を持っている。この割合は学歴別では短大・大学卒者よりも中卒、高卒者に高く、年齢別では30~34才層よりも25~29才層に高い。
- 学校卒業後はじめて就職した当時、半数は「結婚まで」勤めるつもりであったと答えている。他は「子供ができるまで」が13%、「子供ができてできるだけ長く」という者が12%となっている。
- 学校卒業後はじめて就職した際の就職理由は経済的には「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」者が半数以上を占め、精神的には「自分自身の勉強になる」、「家にこもってたくない」という回答が7割ちかくを占める。
- 職業を退いた理由は、9割が自分自身の都合で最後の勤めをやめており、その理由の内訳は「結婚」が5割、「第1子出産」のためが3割である。自己の都合以外の退職理由をあげたのは10%にすぎないが、その中では、「結婚退職制、若年定年制など職場のきまり」でやめたという者が4%を占めている。
- 結婚のため退職した880人のうち、30%は結婚したらやめるのが当然だと結婚当時考えていたが、45%は共働きをしたいと考えていた者である。一方本人を通してたずねた結婚時における夫の共働きに対する意見は、絶対反対派が34%、消極的賛成派が10%、条件付賛成派が13%を占め、積極的賛成派は4%と少ない。
- 出産を機会に職場を退いた539人のうち3割は、勤めをやめるつもりがなかったと答えており、やめざるを得なかった理由として、その60%が保育上の障害、23%が妊娠、出産のため健康を害したと答えている。

3. 現在の就労意志

○調査対象者の52%が現在勤めに出る意志があると答えているが、そのほとんど(85%)は育児のためすぐには勤めに出られないと答えている。また家族が反対するため出られないという者も17%を占める。

○調査対象者の年齢が30~34才層の方が25~29才層より就労の意志があるとする割合がわずかに高く、すぐ勤めに出られるという者も多い。

○就労の意志があるとする割合は、勤めた経験がある者や、職業に関係のある資格をもつ者の方により高い。

○就労の意志は、世帯収入額にほぼ反比例しており、世帯の月額収入額が6万円未満の階層の者は7割が勤めに出る意志があると答えているが、この割合は収入が高まるにしたがって少なくなり、15万円以上の階層の者では38%に減少している。

○育児のためすぐには勤めに出られないと答えた874人のうち、半数(48%)が「子供を預かってくれれば出られる」と答え、その3分の2が保育所、学童保育クラブ等に子供を預けたいとしている。

Ⅲ 調査結果について

1. 調査対象者の属性

調査対象者は、全員団地に居住する配偶者のある25~34才までの婦人としたことは前述の通りであるが、フエース・シートから得られた調査対象者の属性別内訳はA~Eのとおりとなった。このうち年齢構成については2頁で説明したように25~29才が2、30~34才が1となるようにあらかじめ設定されたものである。調査対象者のほとんどが夫婦と子供だけの核家族で就学前の子供を持ち、とくに末子が2才以下である場合が多い。子供の数は1~2人が大部分を占める。学歴は高卒が圧倒的に多く、夫の職業は会社員と公務員とで9割を占め、世帯収入は10万円以上が4割近くみられ、大部分が6万円以上の収入となっている。(属性別内訳表A~E)

A 年齢別、学歴別人数 人(%)

学 歴	計	中 卒	高 卒	短大・大学卒
年 令				
計	1,983 (100.0)	221 (11.1)	1,420 (71.6)	342 (17.3)
25 ~ 29 才	1,260 (100.0)	146 (11.6)	913 (72.5)	201 (15.9)
30 ~ 34 才	723 (100.0)	75 (10.4)	507 (70.1)	141 (19.5)

B 夫の職業別、世帯収入階級別人数 人(%)

世帯収入 (月額)	計	6万円未満	6~8万円 未 満	8~10万円 未 満	10~15万円 未 満	15万円以上	不 明
夫の職業							
計	1,983(100.0)	129(6.5)	507(25.6)	603(30.4)	595(30.0)	134(6.8)	15(0.7)
自 営 業	123(100.0)	9(7.3)	19(15.4)	21(17.1)	44(35.8)	28(22.8)	2(1.6)
会 社 員	1,617(100.0)	95(5.9)	410(25.4)	516(31.9)	491(30.4)	93(5.8)	12(0.7)
公 務 員	177(100.0)	21(11.9)	68(38.4)	51(28.8)	33(18.6)	3(1.7)	1(0.6)
そ の 他	65(100.0)	4(6.2)	10(15.4)	14(21.5)	27(41.5)	10(15.4)	—
不 明	1(100.0)	—	—	—	—	—	—

C 夫婦、子供以外の同居の家族の有無別人数 人(%)

区 分	人(%)
計	1,983 (100.0)
同居家族あり	82 (4.1)
〃 なし	1,901 (95.9)

D 子供の有無および末子の年齢別人数 人(%)

区 分	人(%)
計	1,983(100.0)
あ	小 計 1,803(90.9)(100.0)
り	0 才 456 (25.3)
	1~2才 780 (43.3)
	3~5才 418 (23.2)
	6~9才 135 (7.5)
	10才以上 14 (0.7)
な し	180(9.1)

E 子供の人数 人(%)

区 分	人(%)
計	1,803 (100.0)
1 人	878 (48.7)
2 人	836 (46.4)
3 人	84 (4.6)
4人以上	5 (0.3)

2. 過去の職業生活

(1) 勤めの経験

過去に勤めの経験がある者の割合は高く、25～29才層で88%、30～34才層で82%が職業経験をもっている。

昭和41年に内閣府大臣官房広報室が、全国の20才以上の無職の婦人に対して行なった世論調査の結果によると、過去に職業経験をもつ割合は、20～29才で74%、30～39才では62%となっており、調査時点は異なるが、本調査にあらわれた団地主婦の職業経験者の割合の方が高いといえる。(参考表2)

学歴別には、中卒、高卒の者のほぼ9割が勤めの経験をもつに対し、短大・大学卒では、その割合が76%と低くなっている。しかし年令階層ごとの学歴で職業経験の有無をみた場合、30～34才層では大卒者の82%が勤めの経験をもっており、25～29才層の同学歴の72%と比べて高い割合を示している。(表1)

この調査の対象となった者の半数が、職業に関係があると思われる何らかの資格をもっていると考えているが(表1)、その内容は、表2にみるとおり教員、薬剤師、看護婦、栄養士、保育士、デザイナー、和裁・洋裁、編物教師等の専門技術関係、珠算、簿記、各種タイプ、電話交換等の事務関係のもの、トレース、理・美容師等の技能的、サービスのものまで多種多様となっている。その資格の有無別に勤めの経験をみると、資格をもつ者では職業経験ありが9割を占めており、資格なしの者に比べて1割程度その割合が高い。(表1)

表1 年令別、学歴別、勤めの経験の有無別割合

区分		勤めの経験の有無	計の実数	計	あ	る	な	い
			人	%	人	%	人	%
年令別	計	計	1,983	100.0	85.5	14.5		
	中卒	計	221	100.0	87.3	12.7		
	高卒	計	1,420	100.0	87.5	12.5		
	短大・大学卒	計	342	100.0	76.0	24.0		
学歴別	25才	計	1,260	100.0	87.7	12.3		
	29才	計	146	100.0	89.7	10.3		
	30才	計	913	100.0	90.8	9.2		
	34才	計	201	100.0	72.1	27.9		
資格別	30才	計	723	100.0	81.6	18.4		
	34才	計	76	100.0	82.7	17.3		
	高卒	計	507	100.0	81.5	18.5		
	短大・大学卒	計	141	100.0	81.6	18.4		
資格あり			986	100.0	90.4	9.6		
資格なし			997	100.0	80.6	19.4		

表2 有資格者986人の資格内容(職業経験の有無別)

資格内容		職業経験あり	職業経験なし	資格内容		職業経験あり	職業経験なし
		人	人			人	人
専門的・技術的職業	測量士補	1	—	事務的職業	簿記・3級～1級	121	5
	教員(幼稚園～高校)	130	25		珠算・3級～1級	333	17
	薬剤師	12	—		通記	4	—
	保健婦	3	—		タイプ(英,和,テレタイプ,カナタイプ)	147	7
	看護婦	36	1		キーパンチャー	3	—
	栄養士	36	6		電算機オペレーター	2	—
	衛生検査技師	2	—		電話交換手	30	1
	衛生管理者	4	—	技能業務的職業	織布工	1	—
	保育士	21	3		メリヤス工	1	—
	デザイナー	10	—		トレース	8	—
職業的職業	写真技術師	2	—	サービス的職業	理・美容師	19	3
	英会話会	4	1		調理士	5	2
	英会話会	6	—				
	カウンセラー	1	—	資格を持っている者の合計		891	95
	和・洋裁、編物教師	69	20				
	ラポチュール	1	—				

注)「日本標準職業分類 昭和45年3月行政管理庁編」の項目別による。

(2) 転職回数

職業経験をもつ者のほとんど(82%)は転職をしていない。

この割合は高学歴ほど高く、短大・大学卒の者は9割ちかくが職歴1回だけと答えている。これに対して転職経験が多いのは中卒の者で、職歴2回

(すなわち転職1回)が22%、3回以上が6%となっている。(表3)

(3) 最後に勤めをやめた時期

これら職業経験をもつ者は、半数以上(52%)が結婚の直前直後に勤めをやめており、ついで32%が出産の直前直後に職業を退いている。出産の後まで勤めたという者は1%である。(表4)

(4) 最後の勤めの退職理由

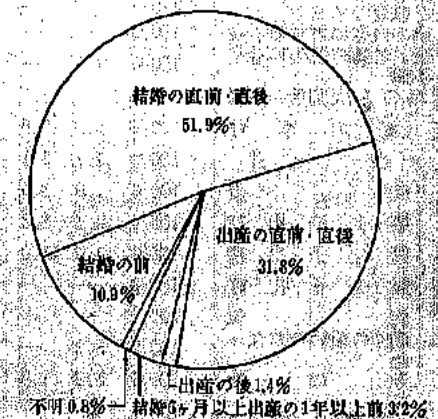
勤めをやめた理由は、退職の時期によりほぼ推測されるが、職業経験をもつ者の9割が自分自身の都合で最後の勤めをやめており、その内訳は「結婚」が5割、「第1子出産」が3割で勤めをやめた時期

表3 学歴別、転職回数別割合

学歴	計の実数		計			
	人	%	転職なし	転職1回	転職2回以上	%
計	1,695	100.0	82.4	14.4	3.2	
中卒	193	100.0	72.0	21.8	6.2	
高卒	1,242	100.0	83.2	13.5	3.3	
短大・大学卒	260	100.0	86.5	13.1	0.4	

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

図表4 最後に勤めをやめた時期別割合



に対応している。

学歴別では、中卒の者は高卒以上の者にくらべ出産による退職が37%と多く、結婚による退職が比較的少なくなっている。また高卒の者には「結婚退職制、若年定年制など職場のきまり」による退職が4%あり、他の学歴の者にくらべ高率である。(表5)

勤めをやめるについてこれらの理由以外に同時に他の理由が重なっていたかどうかを更にたずねたところ、8割強は「この他の理由なし」と答えており、この割合は、主な退職理由を「結婚」、「第1子出産」と答えた者に高い。(表6)

表5 学歴別、最後の勤めの主な退職理由別割合

学 歴	退職理由	計	会社 の倒 産、 人員 整理	結婚退 職制、 若年定 年制な ど職場 のきま り	仕事 の内容に 対する 不満	賃金、 労働時 間等 に対する 不満	職場 の人間 関係の 不調	家庭 の事 情	自 分 自 身 の 都 合							不明
									小計	結婚	第1 子出 産	第2 子出 産	第3 子出 産	病 気	働 く の が い や な っ た 他	
計		100.0 (1,693人)	1.0	3.7	0.7	0.8	0.8	3.1	89.9	49.2	30.1	1.5	0.0	2.0	0.7	6.4
中 卒		100.0 (193人)	—	1.6	1.6	0.5	1.5	2.1	92.7	43.5	36.8	1.0	—	3.1	1.0	7.3
高 卒		100.0 (1,242人)	1.2	4.2	0.4	0.6	0.7	2.9	90.0	49.9	29.3	1.4	—	1.9	0.7	6.8
短大・ 大学卒		100.0 (260人)	0.8	2.7	1.5	1.9	0.4	4.6	88.1	50.4	28.9	2.3	0.4	1.5	0.4	4.2

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

表6 主な退職理由、その他の退職理由別割合

主な退職理由	その他の退職理由	計	仕事 の内容に 対する 不満	賃金、 労働時 間等 に対する 不満	職場 の人間 関係の 不調	家庭 の事 情	自 分 自 身 の 都 合							な い	不 明
							小計	結婚	第1 子出 産	第2 子出 産	第3 子出 産	病 気	働 く の が い や な っ た 他		
計		100.0	2.1	3.4	1.6	2.5	7.3	2.4	0.5	—	—	0.6	0.9	2.9	83.2
会社・人員 整理		100.0	8.9	—	—	—	35.3	17.6	5.9	—	—	5.9	—	5.9	58.8
結婚退職制、 若年定年制 など職場の きまり		100.0	—	8.1	3.2	1.6	43.5	37.1	3.2	—	—	1.6	1.6	43.5	—
仕事の内容に 対する不満		100.0	—	—	—	16.7	41.7	16.7	8.3	—	—	—	16.7	41.7	—
賃金、労働 時間等 に対する 不満		100.0	7.1	—	—	7.1	35.7	7.1	14.3	—	—	—	14.3	50.0	—
職場の人間 関係の不調		100.0	—	7.7	—	—	46.2	23.1	—	—	—	—	7.7	15.4	46.2
家庭の事情		100.0	1.9	5.8	3.8	—	17.3	7.7	3.8	—	—	1.9	3.8	—	71.2
小 計		100.0	2.1	3.1	1.5	2.5	4.3	0.3	0.1	—	—	0.5	0.7	2.7	86.5
結 婚		100.0	1.8	3.0	1.7	2.3	4.7	—	—	—	—	0.6	0.7	3.5	86.9
第1子出産		100.0	2.5	3.3	1.4	2.9	2.7	—	—	—	—	0.6	0.6	1.6	86.9
第2子出産		100.0	4.0	16.0	—	4.0	4.0	—	—	—	—	—	—	4.0	72.0
第3子出産		100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
病 気		100.0	—	—	—	2.9	11.8	—	2.9	—	—	—	2.9	5.9	85.3
働くのが いやにな った		100.0	8.3	—	—	—	8.3	—	—	—	—	—	—	8.3	83.3
そ の 他		100.0	0.9	1.9	1.9	1.9	5.8	4.6	—	—	—	—	0.9	—	87.0

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

(5) 結婚による退職

退職理由にみられるように、結婚のため勤めをやめた者がかなり多いので、結婚の直前直後(結婚を境にして前後6カ月以内までを含む)に退職した者についてその退職理由などをもっと詳細にみることにする。

まず、結婚の直前直後に退職した880人について、結婚当時共働きについてどう考えていたかをみると、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」者30%、「当時の職場や社会一般の条件ではつらくてやっていけないと思っていた」者10%、「多少の不安はあったができればやってみたいと思っていた」者32%、「ずっと続けていこうと思っていた」者が13%となっている。

共働きに対する本人の意見は、退職した時の年齢によってちがいがあがる。

退職時の年齢は20~24才が657人で多く、つづいて25~29才が195人となっているが、この2つの年齢階層に限定して共働きに対する本人の意見を比較すると、20~24才で退職した層には、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」という者が30%あり、「ずっと続けていこうと思っていた」と「できればやってみたいと思っていた」と答えた者はあわせて44%である。一方25~29才に退職した層では、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」という者の割合は26%に減少し、勤めを続けようと思っていた者は50%をこえ、若い層に比べて多くなっている。(表7)

共働きに対する考え方は、学歴別にみた場合一層はっきりちがいがあらわれている。

サンプル数の最も多い高卒者には、共働きに対して消極的な姿勢の者が多く、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」という割合が32%を占めている。また共働きに対して「とくに考えていなかった」と答えた者も16%あった。逆に中卒者には共働きを続けようと考えていた者が多く、「多少の不安はあったができればやってみたいと思っていた」(41%)、「ずっと続けていこうと思っていた」

表7 退職時年齢階層別、共働きに対する本人の意見別割合

退職時年齢 学 歴	本人の意見	計の実数	計	結婚した らやめる のが当然 だと思っ ていた	当時の職場や 社会一般の 条件では つらくて やってい けないと 思ってい た	多少の不安 はあった ができれば やってみ たいと思 っていた	ずっと続 けてい たいと思 っていた	とくに考 えてい なかつ た	不 明
計		880	100.0	29.5	9.8	31.6	13.4	15.0	0.7
20才未満		21	100.0	28.6	23.8	19.0	—	28.6	—
20~24才		657	100.0	30.4	8.5	31.4	12.9	16.4	0.3
25~29才		195	100.0	25.6	12.8	34.4	15.9	9.2	2.1
30~34才		6	100.0	—	—	—	—	—	—
不 明		1	100.0	—	—	—	—	—	—
中 卒		90	100.0	17.8	8.9	41.1	18.9	11.1	2.2
高 卒		655	100.0	31.6	9.2	30.2	12.4	15.9	0.7
短大・大学卒		135	100.0	25.2	13.3	33.3	14.1	13.3	0.6

注) 計は結婚の直前直後に退職した経験ありと答えた人数

(19%)とを合わせて6割が共働きをしようと思っていたことになる。これは中卒者が高卒者に比べて職業経験年数が長いと職業生活が身につけている者が多いことや、経済的必要性が高い場合が多いこと等のあらわれではないかと思われる。短大・大学卒の者は、同学歴をひとつのくくりとしたため、短大卒、大学卒それぞれの比率が分らないので、大学卒業者の純粋な傾向はとらえ難く、高卒者と中卒者の中間をいくような結果が表われている。

すなわち、結婚したらやめるのが当然と考えていた者が25%あるのに対して、「多少の不安はあったができればやってみようと思っていた」、「ずっと続けていこうと思っていた」等の続けて働きたかったという者も47%を占める。(表7)

次に、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」以外の者に対して、共働きをしなかった理由を質問した。(表8)

該当者482人のうち、ほぼ半数(44%)は「転居したため通勤が困難になった」ためと答え、次いで「夫が絶対反対」のため共働きをしなかったと答えた者が24%を占めて多い。また「家事負担が重すぎた」とした者も2割を占める。これらの、主として個人的な理由をあげた者の他に、「労働条件がきびしい」をはじめ、「既婚者に対する職場の偏見」、「近所の人等の共働きに対する偏見」等、本人をとりまく環境が共働きを不可能にしたと思われる理由を答えた者が19%を占めている。(表8)

表8 退職時年齢階級別共働きを継続できなかった理由別割合(M.A.)

退職時年齢	共働きを継続できなかった理由	計の実数	計	労働条件がきびしい	転居したため通勤が困難になった	家事負担が重すぎた	既婚者に対する職場の偏見	近所の人等共働きに対する偏見	夫が絶対反対	自分の体が弱かった	その他
計		482	100.0	9.8	44.4	19.7	8.9	0.4	24.3	9.8	20.0
20才未満		9	100.0	—	22.2	44.4	—	—	44.4	11.1	22.2
20～24才		347	100.0	10.4	41.8	17.9	9.8	0.6	25.7	9.5	19.3
25～29才		123	100.0	8.9	53.7	23.6	7.3	—	19.5	9.8	21.1
30～34才		3	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 計は結婚の直前直後に退職した経験があり、退職当時働続の意志をもっていたと答えた人数

以上でみるように共働きを継続できなかった理由に「夫が絶対反対」のためというのが24%とかなりを占めているので、ここで結婚の直前直後退職者の全員について本人を通してたずねた夫の意見をみると、絶対反対派が34%、消極的賛成派が10%、条件付賛成派が13%を占め、結婚を機会に退職した者の夫という前提条件が既にあるだけに積極的賛成派は4%と少ない。

つぎに、本人の意見と夫の意見をクロスしてみると、「結婚したらやめるのが当然だと思っていた」者の夫には「絶対反対、やめることを結婚の条件とした」意見がもっとも多く、はじめから共働きをする意志がなかった点で、本人と夫が同一意見をもっていた例が多い。「多少の不安はあったができればやってみようと思っていた」、「ずっと続けていこうと思っていた」というように本人の共働き希望が強くなるほど夫が「絶対反対、やめることを結婚の条件とした」という意見をもつ割合は低くな

り、「共働きに都合のよい職場にかわるなら続けてもよい」、「勤めを続けるようすすめた」という意見が多くなっている。共働きについて「とくに考えていなかった」者の夫には、「反対とも賛成ともいかなかった」の無関心派が最も多くなっている。(表9)

表9 共働きに対する本人の意見別および夫の意見別割合

夫の意見		計の実数	計	絶対反対 やめることを結婚の条件とした	反対だが本人がどうしてもというなら続けない	共働きに都合のよい職場にかわるなら続けてもよい	勤めを続けるようすすめた	反対とも賛成ともいかなかった	夫の考えをきかなかった	不明
本人の意見										
計		880	100.0	34.0	9.9	13.3	3.5	29.5	8.8	1.0
結婚したらやめるのが当然だと思っていた		260	100.0	43.5	10.4	5.0	0.8	26.1	14.2	—
当時の職場や社会一般の条件ではつらくてやっていたくないと思っていた		86	100.0	34.9	10.5	17.4	2.3	31.4	2.3	1.2
多少の不安はあったができればやってみようと思っていた		278	100.0	29.9	10.4	18.7	5.0	32.0	2.9	1.1
ずっと続けていこうと思っていた		118	100.0	27.9	10.2	24.6	11.0	22.9	3.4	—
考えていなかった		132	100.0	30.3	7.5	6.1	—	36.4	19.7	—
不明		6	100.0	—	—	—	—	—	—	—

注) 計は結婚の直前直後に退職した経験ありと答えた人数

このように、夫と妻の意見の一致がかなりみられるが、共働きをずっと続けていこうと考えていた者でも、その3割は共働きは「絶対反対」という夫と結婚していたり、あるいは「勤めを続けるようすすめた」夫と結婚して共働きをする点で夫と意見が一致した者も転居等(表8を参照のこと)別の原因で共働きをやめざるを得なかったなど、結婚が女子の職業継続に対して多様な影響を与えることがわかる。

(6) 出産による退職

前述のとおり出産を機会に職場を退いた者は職業経験者の3割を占めていた。その出産が第何子であるかによって退職理由の内容も異なると思われるが、本調査の該当者は大部分が第1子出産の場合であったので、ここでは第何子であるかを特に問わず勤めを出産の直前、直後(出産日の前後1年以内までを含む)にやめた者539人について、どのような理由で、いつ退職しているかをみることにする。

出産のため退職した539人の3割はやめるつもりがなかったと答えており、やめざるを得なかった理由として、その60%が保育上の障害、23%が妊娠、出産のため健康を害したと答えている。

539人のうち435人が出産日前、79人が出産日後にやめているが、この退職時期によって、やめる意志、理由にちがいがみられる。出産日前にやめている者の77%は、はじめから子供が生まれたらやめたいという意志をもっていた。一方、やめるつもりがなかった者は2割強であるがやめざるを得なかった理由には「妊娠中に母体の健康が保てなくなった」という者が3割ちかくを占めており、また保育

上の理由をあげた者も5割強を占める。

出産日後にやめた者は79人と人数が少ないので、直接の比較には無理があるが、一応数字をひろくと、やめるつもりがなかった者が6割近くを占めており、そのうちの7割が保育上の障害のためにやめなければならなかったとしている。出産日後にやめた者の理由のうち、「職場のきまりでやめるとになっていた」と答えた者が2,3%とわずかながらあるのは注目される。(表10)

表10 出産による退職時期別、出産に関する退職理由別割合

退職理由 退職時期	計の 実数	計 %	やめる つもり だった	やめるつもりはなかった								不明
				小計	妊娠中 に母体 の健康 が保た れな かった	出産の ために 健康を 害した	こども を自分 で世に 出さな ければ ならな かった	こども を預け る場所 がな かった	職場の きまり でやめ ること にな った	休んで いる間 に出勤 のき まりが な った	その他	
計	539	100.0	71.1	28.9	17.4	5.2	25.8	34.2	0.6	5.8	11.0	—
出産日前	小計	435	100.0	76.8	23.2	—	22.8	31.7	—	5.9	11.9	—
	2ヵ月以内	89	100.0	67.4	32.6	—	—	—	—	—	—	—
	3～6ヵ月以内	183	100.0	76.5	23.5	—	—	—	—	—	—	—
	6ヵ月以上前	163	100.0	82.2	17.8	—	—	—	—	—	—	—
出産日後	小計	79	100.0	44.3	55.7	—	11.4	29.5	40.9	2.3	4.5	—
	2ヵ月以内	38	100.0	42.1	57.9	—	—	—	—	—	—	—
	3～6ヵ月以内	27	100.0	51.9	48.1	—	—	—	—	—	—	—
	6ヵ月～1年以内	14	100.0	35.7	64.3	—	—	—	—	—	—	—
不明	25	100.0	54.5	45.5	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 計は出産の直前直後に退職した経験ありと答えた人数

表10の補助表 出産による退職時期別人数 ()内は%

計	出 産 日 前											産 前 休業中
	小 計	10ヵ月	9ヵ月	8ヵ月	7ヵ月	6ヵ月	5ヵ月	4ヵ月	3ヵ月	2ヵ月		
人 539 (100.0)	人 435 (80.7)	人 5 (0.9)	人 15 (2.8)	人 26 (4.8)	人 49 (9.1)	人 68 (12.6)	人 63 (11.7)	人 46 (8.6)	人 74 (13.8)	人 54 (10.0)	人 35 (6.5)	

計	出 産 日 後											退職時 期不明
	小 計	産 後 休業中	2ヵ月 以 内	3ヵ月 以 内	4ヵ月 以 内	5ヵ月 以 内	6ヵ月 以 内	7ヵ月 以 内	10ヵ月 以 内	1 年		
人 79 (14.7)	人 14 (2.6)	人 24 (4.4)	人 16 (3.0)	人 4 (0.7)	人 7 (1.3)	人 6 (1.1)	人 2 (0.4)	人 3 (0.6)	人 3 (0.6)	人 25 (4.6)		

注) 計は出産の直前直後に退職したと答えた人数

共働きをつづけていくうえで、育児の問題が大きな負担となっていることは、これまでの調査結果等で知られていることであるが、本調査においてもそれを裏づけるような結果となった。

そこで、婦人労働者の育児問題を解決するひとつの方法として、最近一部でとりいれられている育児休業制度について、「勤めていた職場にそういう制度があったとしたら、利用して勤めを続けたと

思うか」という質問を、出産のために退職した539人に対して行なった。その結果、「制度を利用して続けたと思う」者が3割あった。この回答のあった割合を学歴別にみると、短大・大学卒者が36%、中卒者が34%と両者ともかなり高率であるが、これらと比べると高卒者は低く、逆に「育児休業制度があってもやめたと思う」割合が他より高く、6割を占めている。

退職時の年齢別には、25才以上の年齢の高い層に「制度を利用して続けたと思う」割合が高く、25～29才でやめた者では32%、サンプルは少ないが30才以上でやめた者では62%となっている。これに対して24才までにやめた者には「制度を利用して続けたと思う」は22%で、「やめたと思う」「わからない」が非常に多くなっている。(表11)

表11 学歴別、退職時年齢階級別、育児休業制度活用の意志別割合

区 分	計の 実数	計	育児休業制度を 利用して続けた と思う	やめたと思う	わからない
計	539	100.0	29.3	55.0	15.7
学 歴					
中 卒	74	100.0	33.8	44.6	21.6
高 卒	392	100.0	27.2	58.7	14.1
短大・大学卒	73	100.0	36.1	45.8	18.1
退職時 年 令					
20才未満	2	100.0	—	—	—
20～24才	223	100.0	22.1	60.8	17.1
25～29才	288	100.0	32.2	53.1	14.7
30～34才	26	100.0	61.5	23.1	15.4

注) 計は出産の直前直後に退職した経験ありと答えた人数

(7) 勤続の意志

前にのべた通り、当該調査対象者の半数は結婚までの短い期間を勤めて家庭に入っている婦人であり、また退職理由等でもみられるように、その多くは学校卒業後の就職に対してあまり積極性をもっていなかったといえるが、就職に対する考えを更にはっきりとらえるため、学校卒業後はじめて就職した当時、いつまで勤めを続ける予定であったのかをたずねてみた。それによると、「結婚まで」が

表12 勤めを続ける予定期間別、最後に勤めをやめた時期別割合

勤 続 意 志	計		結 婚 の 前		結 婚 の 直 前 直 後		出 産 の 直 前 直 後		出 産 の 後		結 婚 以 降 出 産 前 1 年		不 明
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
計	100.0	100.0	10.9	51.9	31.8	1.4	3.2	0.8					
結 婚 ま で	53.2	100.0	10.8	53.1	22.3	0.4	2.9	0.3					
子 供 が で き る ま で	13.3	100.0	2.2	22.1	69.5	2.2	3.5	0.4					
子 供 が で き て も で き る だけ 長 く	11.5	100.0	5.1	44.1	44.6	2.1	3.1	1.0					
や め た い と き に い つ で も や め る	11.7	100.0	18.1	49.3	24.1	2.5	4.0	2.0					
そ の 他	10.0	100.0	20.1	44.4	26.0	3.6	4.1	1.8					
不 明	0.3	100.0	—	—	—	—	—	—					

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

最も多くて53%を占めている。他は「子供ができるまで」の13%、「子供ができてできるだけ長く」と「やめたいときにいつでもやめる」が同率の12%となっている。

この勤続の意志と退職の時期をクロスしたところ、「結婚まで」、「子供ができるまで」勤めるつもりと答えた者の7割以上は退職時期との一致がみられるが、「子供ができてできるだけ長く」と答えた者の半数が結婚の前あるいは直後に退職していたり、「やめたいときにいつでもやめる」という者でも3割は出産の直前あるいは後まで勤めていた等就職当初の勤続の意志と、実際の退職の時期とが一致しない例もかなりみられる。(表12)

(B) 就職理由

次に学校卒業後はじめて就職した当時の経済的、精神的な就職理由をみることにする。

まず就職の目的を経済的理由によってみると、半数以上(53%)が「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」と回答しており、「自分の生活費としていくらか家にいれる」というものを加えると、多くは経済的に切実な理由をもたなかったといえる。

しかし、学歴別にみた場合(表13)には、はっきりちがいがあらわれている。すなわち中卒者についてみると、全体の平均では2%しか占めていない「自分の生活費はもちろん家族も養う必要があった」という理由の者が1割ちかくあり、また「自分の生活費は全部自分でまかなう」という者が28%いる。「自分のこづかい程度を稼ぐつもり」とした者は30%で、高卒者、短大・大学卒者とくらべてかなり低い。高卒者、短大・大学卒者には、「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」がそれぞれ、56%、54%を占めて圧倒的に多い。短大・大学卒者について、他とくらべて目立つ点は「その他」という理由が1割あることで、その内容はほとんどが「経済的なことは考えなかった」というものである。(表13)

つぎに職業継続意志からみた場合(表14)は、「結婚まで」、「やめたい時にいつでもやめる」と答えた、就職に対して腰かけの姿勢の者はそれぞれその6割が「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」としている。「子供ができてできるだけ長く」勤めるつもりとした者には「自分の生活費は

表13 学歴別、就職理由別割合

就職理由	計の 実数	経 済 面							精 神 面						
		自も養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	自養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	全分 部の自 分生活 費はま か	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	そ の 他	不 明	自も養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	自養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	全分 部の自 分生活 費はま か	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家
学 歴															
計	1,695	100.0	2.1	19.5	21.4	52.7	4.1	0.2	15.7	46.2	20.6	6.8	2.1	7.8	0.8
中 卒	193	100.0	9.3	27.8	32.6	30.1	0.5	—	9.3	37.3	27.5	10.9	—	14.5	0.9
高 卒	1,242	100.0	1.3	17.9	21.4	55.9	3.3	0.2	11.2	49.0	22.1	6.6	2.7	7.6	0.8
短大・大学卒	260	100.0	0.8	21.5	12.7	54.2	10.4	0.4	41.9	39.6	8.1	4.6	0.8	3.5	1.6

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

全部自分でまかなう」つもりであった答が多く、これに「自分の生活費はもちろん家族も養う必要があった」という理由を加えると3割強が就職に際して経済面の自立をめざしていたといえる。この傾向はやや弱くはあるが、「子供ができるまで」勤めるつもりの者にもみられ、いずれも結婚までの腰かけの意識の者と比べてかなりのちがいがある。(表14)

つぎに最後の勤めを退いた時期と就職の理由とをクロスさせてみる(表15)と、結婚の前にやめている者には「自分の生活費は全部自分でまかなう」(12%)、「自分の生活費はもちろん家族も養う必要があった」(1%)等の割合は他の退職時期の者と比べてかなり低く、多く(67%)が「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」と答えている。また結婚の直前直後にやめている者にも「自分のこづかい程度を稼ぐつもりだった」とする答が多い(58%)。一方出産の直前直後退職者は、自分の生活費あるいは生活費の補助と考えていた者が多く、とくに「自分の生活費は全部自分でまかなう」つもりだったという答が結婚の直前直後退職者と比べて割合が高い。結婚、出産それぞれの直前直後退職者におけるこれらの就職理由の割合は、さきの職業継続意志別にみた「結婚まで」、「子供ができるまで」と答えた者の就職理由の割合と傾向が似通っている。(表15)

つぎに、精神面の理由(表13~15)であるが、職業経験者の7割弱は「自分自身の勉強になる」(46%)、又は「家にこもってたくない」(21%)と答えており、経済的理由と同様、就職に対して積極的な目的意識をもっていなかったといえる。「その他」(8%)というのは、その就職理由が多様で単純に云いきれない等の回答である。精神面における理由は、経済的なものと強くかかわっており、このことは、学歴、勤続意志、退職時期別等とクロスしてみた結果で、より明らかである。

表14 勤めを続ける予定期間別、就職理由別割合

勤続意志	計の 実数	経 済 面							精 神 面						
		自も養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	自養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	全分 部の自 分生活 費はま か	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家	そ の 他	不 明	自も養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	自養 分のち のる必 生ん要 活家あ 費族り はも	全分 部の自 分生活 費はま か	自しに 分入の の生を 活らか と家	自しに 分入の の生を 活らか と家
計	1,695	100.0	2.1	19.5	21.4	52.7	4.1	0.2	15.7	46.2	20.6	6.8	2.1	7.8	0.8
結 婚 ま で	902	100.0	1.6	19.5	20.6	59.2	4.1	0.4	11.9	49.6	20.8	7.7	3.0	6.4	0.6
子 供 が で き る ま で	226	100.0	1.3	15.3	28.8	34.1	2.9	—	22.6	47.6	17.7	4.0	1.8	5.8	0.3
子 供 が で き て も で き る だけ 長 く	195	100.0	3.1	31.4	27.7	32.3	4.4	—	29.2	43.6	12.8	2.7	0.5	10.3	0.9
や め た い と き に い つ で も や め る	199	100.0	3.5	32.8	18.1	61.3	4.1	—	9.5	34.2	37.2	10.1	1.5	6.0	1.5
そ の 他	169	100.0	3.6	12.1	11.8	56.2	5.0	—	18.9	43.2	13.0	6.5	0.6	16.6	1.2
不 明	4	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

表15 最後に勤めをやめた時期別、就職理由別割合

就職理由 最後に勤めをやめた時期	計 の実数	計	経 済 面					不 明
			自分の生活費は家族もやしなう必要あり	自分の生活費は全部自分でまかなう	自分の生活費としていくらか家にいれる	自分のこづかい程度をもらった	その他	
計	1,495	100.0	2.1	19.5	21.4	52.7	4.1	0.2
結 婚 の 前	184	100.0	0.5	12.0	15.2	67.4	4.9	—
結 婚 の 直 前 直 後	880	100.0	2.3	17.2	19.7	57.5	3.2	0.1
出 産 の 直 前 直 後	539	100.0	2.0	26.0	24.7	42.5	4.6	0.2
出 産 の 後	24	100.0	—	20.8	29.2	41.7	8.3	—
結婚後6ヵ月以上 出産の1年以上前	55	100.0	5.5	20.0	32.7	32.7	7.3	1.8
不明	13	100.0	—	—	—	—	—	—

表15 (つづき)

就職理由 最後に勤めをやめた時期	計	精 神 面					そ の 他	不 明
		自や会 分技に 生能を 力社せ	自勉 分強に 身なる	家でい にいた ことも くな	みてす んいす かた なるめ たから な働ら れてく い	結つ将 婚け来 相や夫 手すに をい理 解立		
計	100.0	15.7	46.2	20.6	6.8	2.1	7.8	0.8
結 婚 の 前	100.0	9.8	46.2	24.5	6.5	1.6	8.2	3.2
結 婚 の 直 前 直 後	100.0	14.0	47.0	21.3	6.8	2.6	7.8	0.5
出 産 の 直 前 直 後	100.0	19.7	46.0	18.4	7.1	1.3	7.0	0.5
出 産 の 後	100.0	29.1	37.5	16.7	—	4.2	12.5	—
結婚後6ヵ月以上 出産の1年以上前	100.0	21.8	32.7	20.0	9.1	3.6	10.9	1.9
不明	100.0	—	—	—	—	—	—	—

学歴別にみる(表13)と、高卒者や短大・大学卒者とくらべて経済的に切実感が強いと考えられる中卒者は、「みんなが働いているから、すすめられてしかたなく」(11%)という本人の意志があいまいな答や、「その他」(15%)が他と比べて多い。「その他」の内容としては「経済的理由以外ない」、「生活をたてるため」、「多種多様の事情による」等がみられ、就職に対する精神面の期待感がそれだけ薄かったといえる。高卒の者は、「自分自身の勉強になる」や「家にこもっていたくない」という消極的ともいえる理由が71%を占めるが、それに加えて中卒や短大・大学卒の者にはほとんどみられない「結婚相手をみつけやすい、将来夫を理解するのに役立つ」という理由が3%とわずかながらもあるのは特徴的である。短大・大学卒者では、「自分の能力や技術を社会に生かせる」という理由が42%で他を圧している。

つぎに職業継続意志別に精神面の就職理由をみる(表14)と勤続意志を「結婚まで」とした者は、「自分自身の勉強になる」、「家にこもっていたくない」という答があわせて7割を占める。また、「結婚相手をみつけやすい、将来夫を理解するのに役立つ」と思った者が3%を占めるなど、多くは

社会見学的に職業に就いたことがわかる。一方「子供ができてできるだけ長く」勤める意志を持っていた者では、やはり「自分自身の勉強になる(44%)、家にこもっていたくない(13%)」と思って就職した者が半数以上を占めているが、「自分の能力や技術を社会に生かせる」(29%)とした積極的姿勢のうかがえる割合が、勤続意志を「結婚まで」と答えた者(12%)に比べて格段に高い。

なお、勤続の意志を「結婚」、「出産」いずれにも関係なく、「やめたいときにいつでもやめる」と考えていた者は、「家にこもっていたくない」(37%)のために就職した割合が他の職業継続意志を答えた者と比べて最も高く、また「みんなが働いているから、すすめられてしかたなく」(10%)という消極的姿勢を示している割合も目立っている。(表14)

(9) 勤めなかった理由

6頁(1)の勤めの経験の項で明らかなように一度も勤めた経験のない者が調査対象者の15%を占めていたが、就職しなかった理由は「親の教育方針にしたがった、家事をしていた」(31%)、「すぐ結婚した」(18%)が多い。しかし「家で家事以外の仕事をしていた」という者も2割ちかくを占める。

(表16)

年令別にみた場合25~29才、30~34才の各層とも上記の理由が多いが、25~29才層では「すぐ結婚した」が23%で、30~34才層に比べて割合が高い。30~34才層では、「家で仕事をしていた」という理由がめだっている。

学歴別では、サンプル数に開きがあるのでその誤差を考慮する必要があるが、それぞれに特徴があらわれているので、次にとりあげてみると、中卒者には「家で仕事をしていた」が半数ちかくを占め、実質的には就業していた者が多かったといえる。逆にこの割合が格段に低いのは短大・大学卒の者で、5%を占めているにすぎない。短大・大学卒者は、その6割が「親の教育方針にしたがった、家事従事」(37%)、「すぐ結婚した」(24%)と答えており、学校卒業時の年令と考えあわせて、結婚準備のため勤めなかった者が多いようである。高卒の者には、きわだった特徴はみられず、全体の平均に準じた割合となっている。(表16)

表16 年令別、学歴別、勤めなかった理由別割合

年令・学歴	勤めなかった理由	計 の実数	計	適当な職 がみつ けられ なかつ た	勤めに 出た く な かつ た	親の教育 方針に したが った家 事をして いた	家で仕 事をし ていた	すぐ結 婚した	病身で あった	その他	理由なし
計		288	100.0	5.2	6.3	31.2	18.7	18.1	2.1	8.0	10.4
年令	25 ~ 29 才	155	100.0	6.5	6.5	30.3	15.5	22.6	0.6	9.7	8.3
	30 ~ 34 才	133	100.0	3.8	6.0	32.3	22.5	12.8	3.8	6.0	12.8
学歴	中 卒	28	100.0	7.1	3.6	14.3	42.8	3.6	—	10.7	17.9
	高 卒	178	100.0	4.5	6.7	31.5	21.3	17.4	2.3	7.9	8.4
	短大・大学卒	82	100.0	6.1	6.1	36.6	4.9	24.4	2.4	7.3	12.2

注) 計は勤めの経験なしと答えた人数

3. 現在の就労意志

(1) 就労意志

今まで、本調査対象者の職業経験についていろいろな角度からみてきたが、ここで現在家庭にいる婦人が外に勤めに出る意志があるかどうかを、また勤めに出る意志はあるが今すぐ勤めに出られないという者については、就労をはばむ理由等をみることにする。

調査対象者の半数以上（52%）が勤めに出る意志があると答えている。（表17）

年齢別には、25～29才層の52%、30～34才層の53%が就労意志ありとしている。

既発表の調査結果によってみると、「婦人の就業に関する世論調査」（昭和41年内閣総理大臣官房広報室）では、勤めに出てよいという者は無職の者の32.0%を占め、そのうち有配偶者に限って年齢別にみると、20～29才では42.0%、30～39才では35.6%が勤めに出てよいと答えている（参考表3）。また、「就業構造基本調査報告」（43年総理府統計局）によると、家事をしている無業の女子の36.8%が就労を希望しており、年齢別には25～29才の48.9%、30～34才の50.0%が就労を希望するとなっているが、これらの数字と比較すると本調査結果にあらわれた就労意志をもつ者の割合は高い。（参考表5）

就労意志の有無のちがいがはつきりあらわれているのは、資格、勤めの経験の有無別にみた場合である。何らかの資格をもっている者とそうでない者が調査対象者を相半ばしていることは過去の職業生活の項でみたとおりであるが、資格をもっている者では約6割が就労の意志をもち、資格なしと答えた者に対して1割程度高い割合となっている。

表17 年齢・学歴・資格の有無及び勤めの経験の有無、就労意志の有無別割合

就労の意志 区 分		計 の 実 数	計	就 労 意 志 あ り							すぐ出 られる	就労意 志なし
				小 計	す ぐ 出 ら れ な い 理 由 (M.A)							
					小 計	育 児	家 事	家族の 反 対	病 人 老 人	その他		
計		1,983	100.0	52.4 100.0	94.3	85.3	10.1	16.8	0.5	5.7	5.7	47.6
年 令	25～29才	1,260	100.0	52.0 100.0	95.1	86.0	8.8	17.8	0.5	4.9	4.9	48.0
	30～34才	723	100.0	53.1 100.0	93.0	84.1	12.2	15.1	0.5	7.0	7.0	46.9
学 歴	中 卒	221	100.0	58.4 100.0	92.2	86.8	6.2	13.2	—	5.4	7.8	41.0
	高 卒	1,420	100.0	52.0 100.0	94.4	85.9	10.8	16.9	0.5	4.9	5.6	48.0
歴 短大・ 大学 卒		342	100.0	50.6 100.0	95.4	81.5	9.8	19.1	0.6	9.2	4.6	49.4
	資 格	986	100.0	56.1 100.0	94.6	85.0	9.2	17.4	0.4	6.1	5.4	43.9
格	あ り	997	100.0	48.8 100.0	94.0	85.6	11.1	16.2	0.6	5.1	6.0	51.2
	勤 験 め の 有 経 無	1,695	100.0	55.8 100.0	94.7	86.3	10.1	16.7	0.4	5.3	5.3	44.2
験 無	あ り	288	100.0	33.0 100.0	90.5	74.7	10.5	17.9	1.1	6.5	9.5	67.0
	な し											

表18 最後に勤めをやめた時期別、就労意志の有無別割合

最後に 勤めを やめた時期	就労意志	計の実数	計	就 労 意 志 あ り							就労意 志なし	
				小 計	すぐ出られない理由 (M.A)							すぐ出 られる
					小 計	育児	家事	家族の 反対	病人・ 老人の 世話	その他		
計		1,695	100.0	55.8 100.0	94.7 100.0	91.2	10.6	17.7	0.4	5.6	5.3	44.2
結 婚 の 前		184	100.0	46.2 100.0	94.1						5.9	53.8
結 婚 の 直 前 直 後		880	100.0	53.5 100.0	93.8 100.0	87.6	12.4	23.1	0.2	8.1	6.2	46.5
出 産 の 直 前 直 後		539	100.0	63.1 100.0	97.4 100.0	97.3	8.5	10.6		2.1	2.6	36.9
出 産 の 後		24	100.0	66.7 100.0	75.0						25.0	33.3
結 婚 後 6 か 月 以 上 出 産 の 1 年 以 上 前		55	100.0	45.4 100.0	92.0						8.0	54.6
不 明		13	100.0	61.5								38.5

注) 計は勤めの経験ありと答えた人数

勤めた経験のない者のうち就労意志があると答えた割合は33%で、一方職業経験をもつ者は、その56%が勤めに出たいと答えている。（表17）

このような差は、さきにあげた他の調査結果にもあらわれており（参考表3）、過去の職業経験という実績や、資格・特技等の各人固有の知識技能、技術が、現在就労意志をもたせる要因となっているものと思われる。

職業経験がある者について勤めをやめた時期別に就労意志をみると、出産の前後にやめた者に勤めに出たいと答えた割合が高く6割強を占め、これは結婚の前後にやめている者と比べて高いが、その中で今すぐ勤めに出られると答えた者は結婚の直前直後退職者よりむしろ少なくなっている。勤めに出る理由としてほぼ全

数（97%）が育児のためと答えていることから、保育の問題が解決されるなら、就労可能な者がもっと増えると考えられる。（表18）

つぎに世帯収入と就労意志との関係をみると、勤めに出る意志があると答えた割合が最も高いのは世帯収入が6万円未満の階層の者で、7割近い数字となっている。この割合は収入が高まるにしたが

表19 夫の職業別、世帯収入階級別、就労意志の有無別割合

世帯収入階級 夫の職業		計	就 労 意 志 あ り			就労意 志なし
			小 計	すぐ出 られない	すぐ出 られる	
計		100.0	52.4	49.4	3.0	47.6
世帯収入階級	8 万 円 未 満	100.0	68.2	60.5	7.7	31.8
	8 ～ 8 万 円 未 満	100.0	54.2	51.3	2.9	45.8
	8 ～ 10 万 円 未 満	100.0	53.9	52.2	1.7	46.1
	10 ～ 15 万 円 未 満	100.0	49.6	46.2	3.4	50.4
	15 万 円 以 上	100.0	38.1	35.1	3.0	61.9
不 明		100.0	—	—	—	—
夫の職業	自 営 業	100.0	49.6	47.2	2.4	50.4
	社 会 員	100.0	52.5	49.7	2.8	47.5
	公 務 員	100.0	52.0	48.0	4.0	48.0
	そ の 他	100.0	56.9	52.3	4.6	43.1

って少なくなり、世帯収入が15万円以上の階層の者では38%で、6万円未満の層とはかなりのひらきがある。もっとも世帯収入は夫の職業によってかなりのちがいがあ（5頁属性別内訳表B）ので、世帯収入がそのまま妻の就労の意志を左右するとはいえないかもしれないが、夫の職業と妻の就労意志をクロスした表19で明らかなように、本調査においては夫の職業による就労意志のちがいはあまりみられず、世帯収入の影響は強いと考えられる。（表19）

(2) 就労の可能性

前項において、就労の意志をみてきたが、同じ表（表17）で就労の可能性についてながめると、「すぐ勤めに出られる」と答えた割合は、いずれのサンプルの場合も「就労意志あり」と答えた者の1割に満たず、多くが「育児」のため「今すぐには勤めに出られない」としている。

このように育児のため現在の就労可能性は薄いという者が多いのであるが、調査対象者の属性別でみたように、子供の数はほとんどが1～2人であるから、就労意志に影響しているのは、子供の数よりも年齢の方であろう。そこで、子供の有無および末子の年齢別に就労の意志をみる。（表20）まず、子供の有無別の就労意志の状況については、子供のいない者の方に勤めに出る意志があるとする割合が低くなっている。これは、子供がいる者に比べて就労が容易な状況にあるので、就労意志をもつ者は既に勤めに出ているからであると思われる。なお本調査の時点で就労意志があると答えた子供なしの者のなかで「すぐ出られる」と答えた割合は子供のいる者の場合と比べて高かった。一方子供がある者は、末子の年齢にかかわらずいずれも半数以上が就労意志ありと答えており、なかでも3～5才児をもつ者にその割合が高い。就労の意志は、就職可能性と無関係ではなく、その可能性が薄いと思われるような状況にあるときには、就労の意志が抑えられ、保育を他に委ねても安心と思われる3～5才児を持つ場合には、就労の意志が高まるのではないかと考えられる。末子の年齢が6～9才の学令期のものになると就労意志をもつ割合は40%台にさがっているが、就労意志をもつ者の就職可能性は高く、「すぐ勤めに出られる」と答えた割合が15%を占めており、末子の年齢が6才未満の者に比べて多い。（表20）

表20 子供の有無および末子の年齢別、就労意志の有無別割合

区 分	計	就 労 意 志				就 労 意 志 な し
		小 計	すぐ出られない	すぐ出られる		
計	874	100.0	53.3	96.9	3.1	46.7
小 計	423	100.0	52.2	99.2	0.8	47.8
0 才	275	100.0	53.5	98.3	1.7	46.5
1 ～ 2 才	5	100.0	55.7	96.9	3.1	44.3
3 ～ 5 才	132	100.0	48.1	84.6	15.4	51.9
6 ～ 9 才	11	100.0	—	—	—	—
10 才 以上	451	100.0	43.9	63.3	36.7	56.1

育児のために勤めに出られないと答えてもその意味する内容は一概でないと考えられるので、もっと具体的に就労の意志をとるために託児の意志の有無を質問したところ、育児のためすぐには勤めに出られないと答えた874人のうち、半数（48%）が「子供を預かってくれれば出られる」とし、その3分の2が保育所、学童保育クラブ等に子供を預けたいとしている。

保育の問題が解決されれば勤めに出られると答えた割合は、末子の年齢が1～2才である者に最も高い（53%）。0才児を持つ者においては45%が子供を預ってくれれば出られると答えており、その7割が「保育所」に子供を預けたいと云っている。

託児の意志の有無は、子供の人数にはさほど関わりがなく、子供が1人の者、2人の者のいずれもが、「子供を預かってくれれば勤めに出られる」とする割合が約半数を占めている。なおサンプル数は少ないが、子供が3人いる者に託児の意志が最も強く、また託児は「保育所、学童保育クラブ等」にしたいという割合が8割を占めている。（表21）

表21 末子の年齢別、子供の人数別、託児の意志別割合

区 分	計	実 数	子 供 の 年 令					子 供 の 人 数		
			0 才	1 ～ 2 才	3 ～ 5 才	6 ～ 9 才		1 人	2 人	3 人
計	874	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
小 計	423	48.4	45.3	53.3	42.0	48.8	49.2	47.4	50.0	100.0
保育所、学童保育クラブ等	275	65.0	69.3	62.4	69.0	55.0	63.8	64.9	80.9	100.0
個人の家	5	1.2	1.0	0.9	2.3	—	1.9	0.5	—	—
身内の者	132	31.2	28.7	33.8	24.1	45.0	31.4	32.5	14.3	—
その他	11	1.6	0.2	1.5	4.6	—	1.5	1.6	4.8	—
どこでもよい	4	1.0	0.8	1.4	—	—	1.4	0.5	—	—
子供を預けては出たくない	451	51.6	54.7	46.7	58.0	51.2	50.8	52.6	50.0	—

注）計は就労意志があって育児のためすぐには勤めに出られないと答えた人数

最近一部地方公共団体では、保育所の不足を補うため「保育ママ」制度（注）をすすめている。

そこで、本調査の対象者である団地の主婦がそのような制度を受け入れて保育に困っている近隣の働く婦人に協力する意志があるかどうかを聞いたところ、子供を「預かってよい」と答えたのは1割にとどまっている。（表22）

対象者の年齢別による保育ママ制度の受け入れ意志には、ほとんどちがいはみられない。

子供の有無と末子の年齢別に保

表22 年齢別、子供の有無及び人数別、保育ママの受託意志別割合

年 令	子供の有無	受 託 意 志		計	預ってもよい	そのようなたくはない	わからない
		受 託 意 志	計				
計	計	100.0	100.0	10.1	77.0	12.9	—
25 ～ 29 才	計	100.0	100.0	10.7	76.1	13.2	—
30 ～ 34 才	計	100.0	100.0	9.0	78.6	12.4	—
小 計	計	100.0	100.0	10.4	77.7	11.9	—
あ 1 人	計	100.0	100.0	10.3	77.1	12.6	—
2 人	計	100.0	100.0	9.2	79.6	11.2	—
3 人	計	100.0	100.0	22.6	66.7	10.7	—
4 人以上	計	100.0	100.0	—	—	—	—
なし	計	100.0	100.0	6.7	70.4	22.9	—

「わからない」という割合が低くなっている。（表22）

(注) 一定の資格を具備した家庭の主婦など(保育ママ)が自宅で、働いている母親の乳幼児を8~9時間ぐ
らいあずかる家庭保育制度を通称“保育ママ”制度という。保育ママは親から相応の保育料をうけとる。
この制度の詳細は、各地方公共団体により異なるが、登録された保育ママに対してベッドや遊具の無料貸
与、保育料の一部負担など地方公共団体からなんらかの補助がおこなわれている。

調査地点一覧表

京浜地区	埼玉県	浦和、川口、大宮、所沢、草加、春日部、鳩ヶ谷、朝霞、戸田、上尾 の各市、入間郡福岡町
	千葉県	千葉、船橋、習志野、松戸、柏の各市
	東京都	港、江東、目黒、世田谷、中野、杉並、北、練馬、足立、葛飾の各 区、調布市
	神奈川県	横浜、川崎、藤沢、相模原の各市
中京地区	愛知県	名古屋市、春日井市
阪神地区	京都府	京都市
	大阪府	大阪、堺、池田、東大阪、豊中、吹田、高槻の各市
	兵庫県	神戸、明石、尼崎、西宮、伊丹、宝塚の各市
北九州地区	福岡県	福岡市、北九州市

参考表1 あなたは、これまで職業についての経験がありますか

区 分	回 答 者 (人)	計	職業経験あり	同 な し
計	3,794	100.0%	55.6%	44.4%
未婚	208	100.0	58.7	41.3
離別・死別	203	100.0	46.8	53.2
有配偶	3,374	100.0	56.0	44.0
20~29才	767	100.0	74.1	25.9
30~39才	1,210	100.0	62.3	37.7
40~49才	801	100.0	48.6	51.4
50~59才	596	100.0	29.7	70.3

「婦人の就業に関する世論調査」結果報告(41年)

参考表2 あなたは、パートタイムの仕事も含めて、何か適当な仕事があれば勤めに出てよいと思いますか、
勤めに出る気持はありませんか

区 分	回 答 者 (人)	計	勤めに出てよい	出る気持はないど ちらともいえない
計	3,794	100.0%	32.0%	68.0%
未婚	208	100.0	42.3	57.7
離別・死別	203	100.0	22.7	77.3
有配偶	3,374	100.0	32.0	68.0
20~29才	767	100.0	42.0	58.0
30~39才	1,210	100.0	35.6	64.4
40~49才	801	100.0	27.7	72.3
50~59才	596	100.0	17.6	82.4
職業経験あり	2,108	100.0	43.0	57.0
職業経験なし	1,686	100.0	18.2	81.8
資格・特技あり	1,111	100.0	37.2	62.8
資格・特技なし	2,683	100.0	29.9	70.1
生活程度	116	100.0	16.4	83.6
上	617	100.0	24.1	75.9
中	1,950	100.0	32.2	67.8
中	929	100.0	37.6	62.4
下	163	100.0	37.4	62.6

「婦人の就業に関する世論調査」結果報告(41年)

参考表3 あなたは、もし適当な仕事が見つければ今すぐにでも(例えば来月からでも)勤めに出ることがで
きますか。今すぐには勤めに出ることはできませんか。

区 分	回 答 者 (人)	計	今すぐにでも 勤められる	今すぐには できない	不 明 当
計	3,794	100.0%	11.3%	20.0%	68.7%
未婚	208	100.0	24.5	16.3	59.1
離別・死別	203	100.0	10.3	11.3	78.3
有配偶	3,374	100.0	10.6	20.8	68.7
20~29才	767	100.0	10.4	31.2	58.4
30~39才	1,210	100.0	10.3	24.5	65.2
40~49才	801	100.0	12.7	14.5	72.8
50~59才	596	100.0	8.2	8.4	83.4
職業経験あり	2,108	100.0	15.2	27.0	57.8
職業経験なし	1,686	100.0	6.4	11.2	82.4
資格・特技あり	1,111	100.0	12.7	23.8	63.5
資格・特技なし	2,683	100.0	10.7	18.4	70.9

「婦人の就業に関する世論調査」結果報告(41年)

参考表 4

あなたは、もし適当な仕事が見つければ、今すぐにも（例えば来月からでも）勤めに出ることができずか、今すぐには勤めに出ることはできませんか。

勤めに出る	小計	計
今すぐにも勤められる	11.3	32.0%
今すぐにはできない	20.0	
不	0.7	
今すぐ勤めには出られない	68.0	
計	100.0	(N=3,794人)

（前問で「今すぐ勤めには出られない」と答えた者に）何故ですか。（M.A.）

乳幼児がいるから	9.3%	(45.5%)
子供の教育上好ましくないから	2.8	(14.0)
手のかかる病人、老人がいるから	1.0	(5.1)
るす番、家事をする者が居ないから	4.2	(21.1)
体の具合が悪いから	2.0	(10.2)
夫（家族）の理解がないから	0.5	(2.4)
今すぐ勤める気はない	1.2	(5.8)
その他	1.6	(7.9)
理由なし、不明	0.3	(1.6)
小計 (M.T.)	22.9	(113.6)
	(N=	(N=
	3,794人)	758人)

「婦人の就業に関する世論調査」結果報告（41年）

参考表 5 家事をしている無業の女子の就業希望

千人

区 分	総 数	25 ~ 29 才	30 ~ 34 才	世帯主の配偶者
家事をしている無業の女子	(100.0%) 15,052	(100.0%) 2,482	(100.0%) 2,304	(100.0%) 11,082
就業希望者	(36.8) 5,534	(48.9) 1,214	(50.0) 1,151	(40.0) 4,429
求 職	(13.7) 2,055	(15.6) 386	(18.1) 418	(14.2) 1,573
非 求 職	(23.1) 3,480	(33.3) 828	(31.8) 733	(25.8) 2,856
本業希望	(4.5) 678	(4.8) 118	(4.2) 97	(3.1) 349
求 職	383	60	50	175
非 求 職	295	58	47	175
副業希望	(32.3) 4,858	(44.1) 1,096	(45.7) 1,054	(36.8) 4,080
求 職	1,671	326	368	1,399
非 求 職	3,185	770	686	2,681
非 希 望	9,518	1,268	1,153	6,653

「就業構造基本調査報告」（43年総理府統計局）

参考表 6 保育所入所児童の年齢階級別構成の推移（各年12月）

年	総 数	0 ~ 1 才	2 才	3 才	4 才以上
1965	100.0%	0.1%	1.1%	3.9%	94.9%
1966	100.0	1.9	5.8	13.5	78.8
1967	100.0	2.6	7.5	14.9	75.1

注）全入所児童の2.0%を占める私的契約児童は含まない。

厚生省母子福祉課調

出典の統計に関する調査

調査票の記入方法
1. 調査票の記入は、調査票の裏面に記載の記入方法に従って行う。
2. 調査票の記入は、調査票の裏面に記載の記入方法に従って行う。
3. 調査票の記入は、調査票の裏面に記載の記入方法に従って行う。

調査票の記入方法

- あなたの年齢は幾つですか。 1. 25歳以下 2. 26~34歳 3. 35歳以上
- あなたが現在に就いている職業は何か（中略） 1. 中 2. 高 3. 大 4. 大学
- あなたの収入は幾つですか。 1. 1万円以下 2. 1万円超 3. 2万円超 4. 3万円超 5. 4万円超 6. 5万円超 7. 6万円超 8. 7万円超 9. 8万円超 10. 9万円超 11. 10万円超 12. 11万円超 13. 12万円超 14. 13万円超 15. 14万円超 16. 15万円超 17. 16万円超 18. 17万円超 19. 18万円超 20. 19万円超 21. 20万円超 22. 21万円超 23. 22万円超 24. 23万円超 25. 24万円超 26. 25万円超 27. 26万円超 28. 27万円超 29. 28万円超 30. 29万円超 31. 30万円超 32. 31万円超 33. 32万円超 34. 33万円超 35. 34万円超 36. 35万円超 37. 36万円超 38. 37万円超 39. 38万円超 40. 39万円超 41. 40万円超 42. 41万円超 43. 42万円超 44. 43万円超 45. 44万円超 46. 45万円超 47. 46万円超 48. 47万円超 49. 48万円超 50. 49万円超 51. 50万円超 52. 51万円超 53. 52万円超 54. 53万円超 55. 54万円超 56. 55万円超 57. 56万円超 58. 57万円超 59. 58万円超 60. 59万円超 61. 60万円超 62. 61万円超 63. 62万円超 64. 63万円超 65. 64万円超 66. 65万円超 67. 66万円超 68. 67万円超 69. 68万円超 70. 69万円超 71. 70万円超 72. 71万円超 73. 72万円超 74. 73万円超 75. 74万円超 76. 75万円超 77. 76万円超 78. 77万円超 79. 78万円超 80. 79万円超 81. 80万円超 82. 81万円超 83. 82万円超 84. 83万円超 85. 84万円超 86. 85万円超 87. 86万円超 88. 87万円超 89. 88万円超 90. 89万円超 91. 90万円超 92. 91万円超 93. 92万円超 94. 93万円超 95. 94万円超 96. 95万円超 97. 96万円超 98. 97万円超 99. 98万円超 100. 99万円超 101. 100万円超 102. 101万円超 103. 102万円超 104. 103万円超 105. 104万円超 106. 105万円超 107. 106万円超 108. 107万円超 109. 108万円超 110. 109万円超 111. 110万円超 112. 111万円超 113. 112万円超 114. 113万円超 115. 114万円超 116. 115万円超 117. 116万円超 118. 117万円超 119. 118万円超 120. 119万円超 121. 120万円超 122. 121万円超 123. 122万円超 124. 123万円超 125. 124万円超 126. 125万円超 127. 126万円超 128. 127万円超 129. 128万円超 130. 129万円超 131. 130万円超 132. 131万円超 133. 132万円超 134. 133万円超 135. 134万円超 136. 135万円超 137. 136万円超 138. 137万円超 139. 138万円超 140. 139万円超 141. 140万円超 142. 141万円超 143. 142万円超 144. 143万円超 145. 144万円超 146. 145万円超 147. 146万円超 148. 147万円超 149. 148万円超 150. 149万円超 151. 150万円超 152. 151万円超 153. 152万円超 154. 153万円超 155. 154万円超 156. 155万円超 157. 156万円超 158. 157万円超 159. 158万円超 160. 159万円超 161. 160万円超 162. 161万円超 163. 162万円超 164. 163万円超 165. 164万円超 166. 165万円超 167. 166万円超 168. 167万円超 169. 168万円超 170. 169万円超 171. 170万円超 172. 171万円超 173. 172万円超 174. 173万円超 175. 174万円超 176. 175万円超 177. 176万円超 178. 177万円超 179. 178万円超 180. 179万円超 181. 180万円超 182. 181万円超 183. 182万円超 184. 183万円超 185. 184万円超 186. 185万円超 187. 186万円超 188. 187万円超 189. 188万円超 190. 189万円超 191. 190万円超 192. 191万円超 193. 192万円超 194. 193万円超 195. 194万円超 196. 195万円超 197. 196万円超 198. 197万円超 199. 198万円超 200. 199万円超 201. 200万円超 202. 201万円超 203. 202万円超 204. 203万円超 205. 204万円超 206. 205万円超 207. 206万円超 208. 207万円超 209. 208万円超 210. 209万円超 211. 210万円超 212. 211万円超 213. 212万円超 214. 213万円超 215. 214万円超 216. 215万円超 217. 216万円超 218. 217万円超 219. 218万円超 220. 219万円超 221. 220万円超 222. 221万円超 223. 222万円超 224. 223万円超 225. 224万円超 226. 225万円超 227. 226万円超 228. 227万円超 229. 228万円超 230. 229万円超 231. 230万円超 232. 231万円超 233. 232万円超 234. 233万円超 235. 234万円超 236. 235万円超 237. 236万円超 238. 237万円超 239. 238万円超 240. 239万円超 241. 240万円超 242. 241万円超 243. 242万円超 244. 243万円超 245. 244万円超 246. 245万円超 247. 246万円超 248. 247万円超 249. 248万円超 250. 249万円超 251. 250万円超 252. 251万円超 253. 252万円超 254. 253万円超 255. 254万円超 256. 255万円超 257. 256万円超 258. 257万円超 259. 258万円超 260. 259万円超 261. 260万円超 262. 261万円超 263. 262万円超 264. 263万円超 265. 264万円超 266. 265万円超 267. 266万円超 268. 267万円超 269. 268万円超 270. 269万円超 271. 270万円超 272. 271万円超 273. 272万円超 274. 273万円超 275. 274万円超 276. 275万円超 277. 276万円超 278. 277万円超 279. 278万円超 280. 279万円超 281. 280万円超 282. 281万円超 283. 282万円超 284. 283万円超 285. 284万円超 286. 285万円超 287. 286万円超 288. 287万円超 289. 288万円超 290. 289万円超 291. 290万円超 292. 291万円超 293. 292万円超 294. 293万円超 295. 294万円超 296. 295万円超 297. 296万円超 298. 297万円超 299. 298万円超 300. 299万円超 301. 300万円超 302. 301万円超 303. 302万円超 304. 303万円超 305. 304万円超 306. 305万円超 307. 306万円超 308. 307万円超 309. 308万円超 310. 309万円超 311. 310万円超 312. 311万円超 313. 312万円超 314. 313万円超 315. 314万円超 316. 315万円超 317. 316万円超 318. 317万円超 319. 318万円超 320. 319万円超 321. 320万円超 322. 321万円超 323. 322万円超 324. 323万円超 325. 324万円超 326. 325万円超 327. 326万円超 328. 327万円超 329. 328万円超 330. 329万円超 331. 330万円超 332. 331万円超 333. 332万円超 334. 333万円超 335. 334万円超 336. 335万円超 337. 336万円超 338. 337万円超 339. 338万円超 340. 339万円超 341. 340万円超 342. 341万円超 343. 342万円超 344. 343万円超 345. 344万円超 346. 345万円超 347. 346万円超 348. 347万円超 349. 348万円超 350. 349万円超 351. 350万円超 352. 351万円超 353. 352万円超 354. 353万円超 355. 354万円超 356. 355万円超 357. 356万円超 358. 357万円超 359. 358万円超 360. 359万円超 361. 360万円超 362. 361万円超 363. 362万円超 364. 363万円超 365. 364万円超 366. 365万円超 367. 366万円超 368. 367万円超 369. 368万円超 370. 369万円超 371. 370万円超 372. 371万円超 373. 372万円超 374. 373万円超 375. 374万円超 376. 375万円超 377. 376万円超 378. 377万円超 379. 378万円超 380. 379万円超 381. 380万円超 382. 381万円超 383. 382万円超 384. 383万円超 385. 384万円超 386. 385万円超 387. 386万円超 388. 387万円超 389. 388万円超 390. 389万円超 391. 390万円超 392. 391万円超 393. 392万円超 394. 393万円超 395. 394万円超 396. 395万円超 397. 396万円超 398. 397万円超 399. 398万円超 400. 399万円超 401. 400万円超 402. 401万円超 403. 402万円超 404. 403万円超 405. 404万円超 406. 405万円超 407. 406万円超 408. 407万円超 409. 408万円超 410. 409万円超 411. 410万円超 412. 411万円超 413. 412万円超 414. 413万円超 415. 414万円超 416. 415万円超 417. 416万円超 418. 417万円超 419. 418万円超 420. 419万円超 421. 420万円超 422. 421万円超 423. 422万円超 424. 423万円超 425. 424万円超 426. 425万円超 427. 426万円超 428. 427万円超 429. 428万円超 430. 429万円超 431. 430万円超 432. 431万円超 433. 432万円超 434. 433万円超 435. 434万円超 436. 435万円超 437. 436万円超 438. 437万円超 439. 438万円超 440. 439万円超 441. 440万円超 442. 441万円超 443. 442万円超 444. 443万円超 445. 444万円超 446. 445万円超 447. 446万円超 448. 447万円超 449. 448万円超 450. 449万円超 451. 450万円超 452. 451万円超 453. 452万円超 454. 453万円超 455. 454万円超 456. 455万円超 457. 456万円超 458. 457万円超 459. 458万円超 460. 459万円超 461. 460万円超 462. 461万円超 463. 462万円超 464. 463万円超 465. 464万円超 466. 465万円超 467. 466万円超 468. 467万円超 469. 468万円超 470. 469万円超 471. 470万円超 472. 471万円超 473. 472万円超 474. 473万円超 475. 474万円超 476. 475万円超 477. 476万円超 478. 477万円超 479. 478万円超 480. 479万円超 481. 480万円超 482. 481万円超 483. 482万円超 484. 483万円超 485. 484万円超 486. 485万円超 487. 486万円超 488. 487万円超 489. 488万円超 490. 489万円超 491. 490万円超 492. 491万円超 493. 492万円超 494. 493万円超 495. 494万円超 496. 495万円超 497. 496万円超 498. 497万円超 499. 498万円超 500. 499万円超 501. 500万円超 502. 501万円超 503. 502万円超 504. 503万円超 505. 504万円超 506. 505万円超 507. 506万円超 508. 507万円超 509. 508万円超 510. 509万円超 511. 510万円超 512. 511万円超 513. 512万円超 514. 513万円超 515. 514万円超 516. 515万円超 517. 516万円超 518. 517万円超 519. 518万円超 520. 519万円超 521. 520万円超 522. 521万円超 523. 522万円超 524. 523万円超 525. 524万円超 526. 525万円超 527. 526万円超 528. 527万円超 529. 528万円超 530. 529万円超 531. 530万円超 532. 531万円超 533. 532万円超 534. 533万円超 535. 534万円超 536. 535万円超 537. 536万円超 538. 537万円超 539. 538万円超 540. 539万円超 541. 540万円超 542. 541万円超 543. 542万円超 544. 543万円超 545. 544万円超 546. 545万円超 547. 546万円超 548. 547万円超 549. 548万円超 550. 549万円超 551. 550万円超 552. 551万円超 553. 552万円超 554. 553万円超 555. 554万円超 556. 555万円超 557. 556万円超 558. 557万円超 559. 558万円超 560. 559万円超 561. 560万円超 562. 561万円超 563. 562万円超 564. 563万円超 565. 564万円超 566. 565万円超 567. 566万円超 568. 567万円超 569. 568万円超 570. 569万円超 571. 570万円超 572. 571万円超 573. 572万円超 574. 573万円超 575. 574万円超 576. 575万円超 577. 576万円超 578. 577万円超 579. 578万円超 580. 579万円超 581. 580万円超 582. 581万円超 583. 582万円超 584. 583万円超 585. 584万円超 586. 585万円超 587. 586万円超 588. 587万円超 589. 588万円超 590. 589万円超 591. 590万円超 592. 591万円超 593. 592万円超 594. 593万円超 595. 594万円超 596. 595万円超 597. 596万円超 598. 597万円超 599. 598万円超 600. 599万円超 601. 600万円超 602. 601万円超 603. 602万円超 604. 603万円超 605. 604万円超 606. 605万円超 607. 606万円超 608. 607万円超 609. 608万円超 610. 609万円超 611. 610万円超 612. 611万円超 613. 612万円超 614. 613万円超 615. 614万円超 616. 615万円超 617. 616万円超 618. 617万円超 619. 618万円超 620. 619万円超 621. 620万円超 622. 621万円超 623. 622万円超 624. 623万円超 625. 624万円超 626. 625万円超 627. 626万円超 628. 627万円超 629. 628万円超 630. 629万円超 631. 630万円超 632. 631万円超 633. 632万円超 634. 633万円超 635. 634万円超 636. 635万円超 637. 636万円超 638. 637万円超 639. 638万円超 640. 639万円超 641. 640万円超 642. 641万円超 643. 642万円超 644. 643万円超 645. 644万円超 646. 645万円超 647. 646万円超 648. 647万円超 649. 648万円超 650. 649万円超 651. 650万円超 652. 651万円超 653. 652万円超 654. 653万円超 655. 654万円超 656. 655万円超 657. 656万円超 658. 657万円超 659. 658万円超 660. 659万円超 661. 660万円超 662. 661万円超 663. 662万円超 664. 663万円超 665. 664万円超 666. 665万円超 667. 666万円超 668. 667万円超 669. 668万円超 670. 669万円超 671. 670万円超 672. 671万円超 673. 672万円超 674. 673万円超 675. 674万円超 676. 675万円超 677. 676万円超 678. 677万円超 679. 678万円超 680. 679万円超 681. 680万円超 682. 681万円超 683. 682万円超 684. 683万円超 685. 684万円超 686. 685万円超 687. 686万円超 688. 687万円超 689. 688万円超 690. 689万円超 691. 690万円超 692. 691万円超 693. 692万円超 694. 693万円超 695. 694万円超 696. 695万円超 697. 696万円超 698. 697万円超 699. 698万円超 700. 699万円超 701. 700万円超 702. 701万円超 703. 702万円超 704. 703万円超 705. 704万円超 706. 705万円超 707. 706万円超 708. 707万円超 709. 708万円超 710. 709万円超 711. 710万円超 712. 711万円超 713. 712万円超 714. 713万円超 715. 714万円超 716. 715万円超 717. 716万円超 718. 717万円超 719. 718万円超 720. 719万円超 721. 720万円超 722. 721万円超 723. 722万円超 724. 723万円超 725. 724万円超 726. 725万円超 727. 726万円超 728. 727万円超 729. 728万円超 730. 729万円超 731. 730万円超 732. 731万円超 733. 732万円超 734. 733万円超 735. 734万円超 736. 735万円超 737. 736万円超 738. 737万円超 739. 738万円超 740. 739万円超 741. 740万円超 742. 741万円超 743. 742万円超 744. 743万円超 745. 744万円超 746. 745万円超 747. 746万円超 748. 747万円超 749. 748万円超 750. 749万円超 751. 750万円超 752. 751万円超 753. 752万円超 754. 753万円超 755. 754万円超 756. 755万円超 757. 756万円超 758. 757万円超 759. 758万円超 760. 759万円超 761. 760万円超 762. 761万円超 763. 762万円超 764. 763万円超 765. 764万円超 766. 765万円超 767. 766万円超 768. 767万円超 769. 768万円超 770. 769万円超 771. 770万円超 772. 771万円超 773. 772万円超 774. 773万円超 775. 774万円超 776. 775万円超 777. 776万円超 778. 777万円超 779. 778万円超 780. 779万円超 781. 780万円超 782. 781万円超 783. 782万円超 784. 783万円超 785. 784万円超 786. 785万円超 787. 786万円超 788. 787万円超 789. 788万円超 790. 789万円超 791. 790万円超 792. 791万円超 793. 792万円超 794. 793万円超 795. 794万円超 796. 795万円超 797. 796万円超 798. 797万円超 799. 798万円超 800. 799万円超 801. 800万円超 802. 801万円超 803. 802万円超 804. 803万円超 805. 804万円超 806. 805万円超 807. 806万円超 808. 807万円超 809. 808万円超 810. 809万円超 811. 810万円超 812. 811万円超 813. 812万円超 814. 813万円超 815. 814万円超 816. 815万円超 817. 816万円超 818. 817万円超 819. 818万円超 820. 819万円超 821. 820万円超 822. 821万円超 823. 822万円超 824. 823万円超 825. 824万円超 826. 825万円超 827. 826万円超 828. 827万円超 829. 828万円超 830. 829万円超 831. 830万円超 832. 831万円超 833. 832万円超 834. 833万円超 835. 834万円超 836. 835万円超 837. 836万円超 838. 837万円超 839. 838万円超 840. 839万円超 841. 840万円超 842. 841万円超 843. 842万円超 844. 843万円超 845. 844万円超 846. 845万円超 847. 846万円超 848. 847万円超 849. 848万円超 850. 849万円超 851. 850万円超 852. 851万円超 853. 852万円超 854. 853万円超 855. 854万円超 856. 855万円超 857. 856万円超 858. 857万円超 859. 858万円超 860. 859万円超 861. 860万円超 862. 861万円超 863. 862万円超 864. 863万円超 865. 864万円超 866. 865万円超 867. 866万円超 868. 867万円超 869. 868万円超 870. 869万円超 871. 870万円超 872. 871万円超 873. 872万円超 874. 873万円超 875. 874万円超 876. 875万円超 877. 876万円超 878. 877万円超 879. 878万円超 880. 879万円超 881. 880万円超 882. 881万円超 883. 882万円超 884. 883万円超 885. 884万円超 886. 885万円超 887. 886万円超 888. 887万円超 889. 888万円超 890. 889万円超 891. 890万円超 892. 891万円超 893. 892万円超 894. 893万円超 895. 894万円超 896. 895万円超 897. 896万円超 898. 897万円超 899. 898万円超 900. 899万円超 901. 900万円超 902. 901万円超 903. 902万円超 904. 903万円超 905.

